



平成 29 年 5 月 15 日

各 位

会社名 富士興産株式会社
代表者名 代表取締役社長 金丸 勇一
(コード番号 5009 東証一部)
問合せ先 取締役執行役員経理部長 松崎 博文
(TEL. 03-6859-2050)

平成 29 年 3 月期通期業績予想との差異に関するお知らせ

平成 28 年 5 月 13 日に公表した平成 29 年 3 月期通期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の業績予想値と本日公表の通期の実績値において、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期通期業績予想との差異（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

(1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	44,500	600	700	450	51.49
実績値 (B)	47,306	788	871	606	69.43
増減額 (B-A)	2,806	188	171	156	
増減率 (%)	6.3	31.4	24.4	34.8	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	50,109	631	736	450	51.55

(2) 個別

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	42,000	450	600	400	45.77
実績値 (B)	44,855	593	752	515	58.99
増減額 (B-A)	2,855	143	152	115	
増減率 (%)	6.8	32.0	25.4	28.9	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	47,824	441	634	374	42.85

2. 差異の理由

当期におきましては、当社グループのコア事業である石油事業において、引き続き仕入コストに見合った採算販売に比重を置いた営業活動に取り組んでまいりました。この結果、売上高は、原油コスト増加による製品販売価格上昇の影響により計画（平成28年5月13日公表値）を上回り、損益面でも販売費及び一般管理費の削減や在庫影響による利益により、計画を上回る利益を計上することができました。

また、個別業績につきましても、連結業績と同様の理由により差異が発生しております。

以上